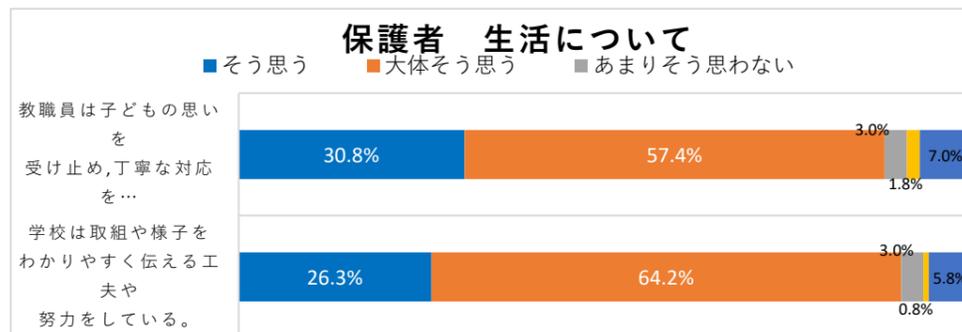
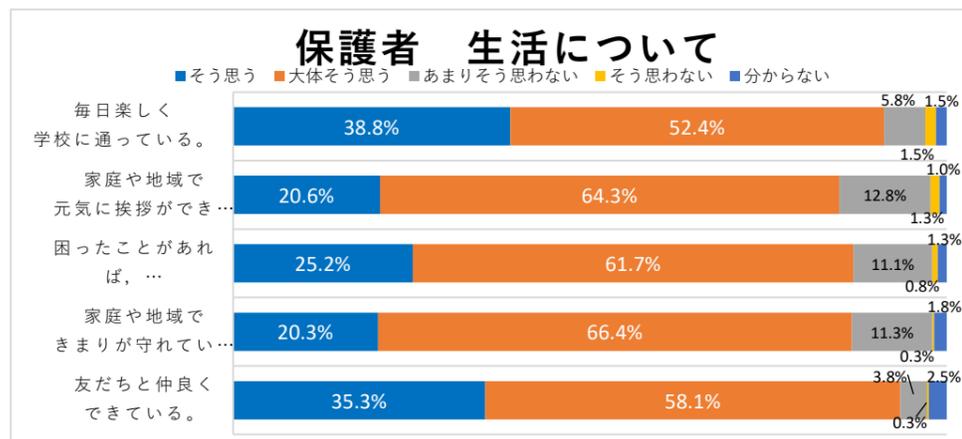
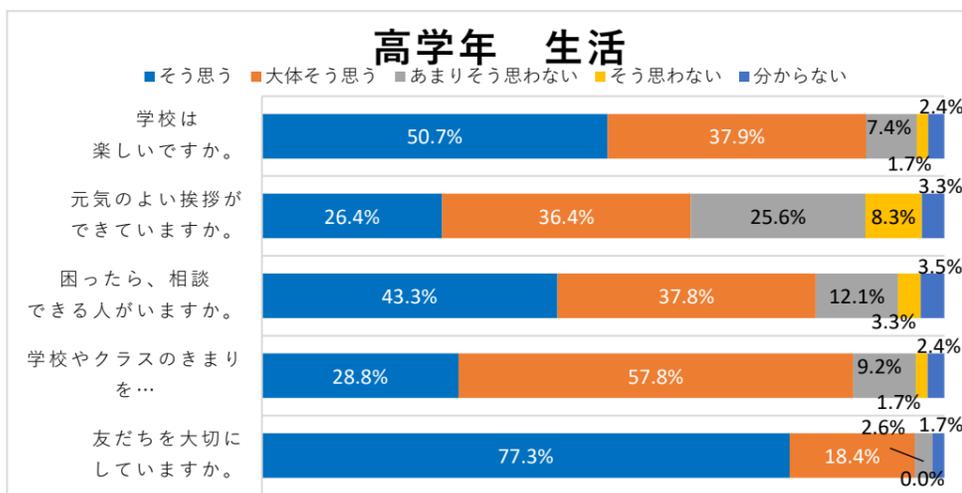
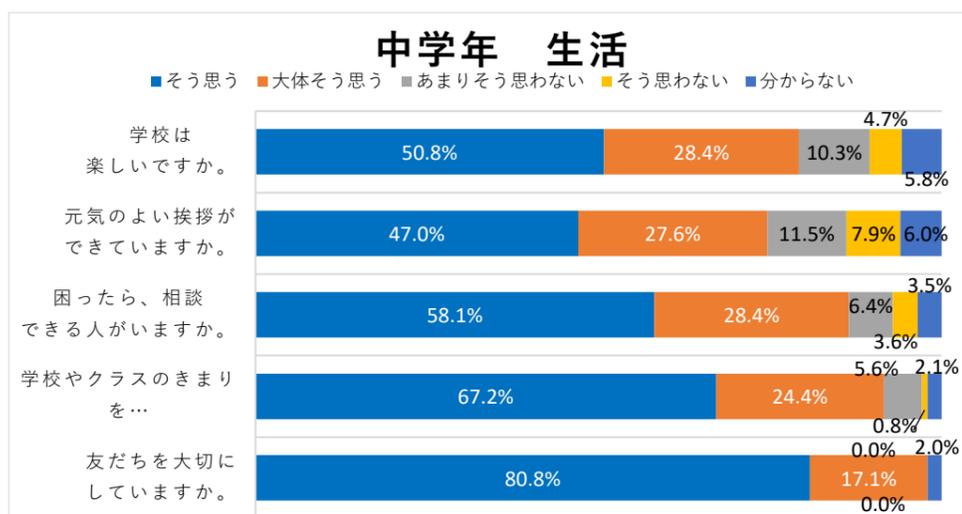
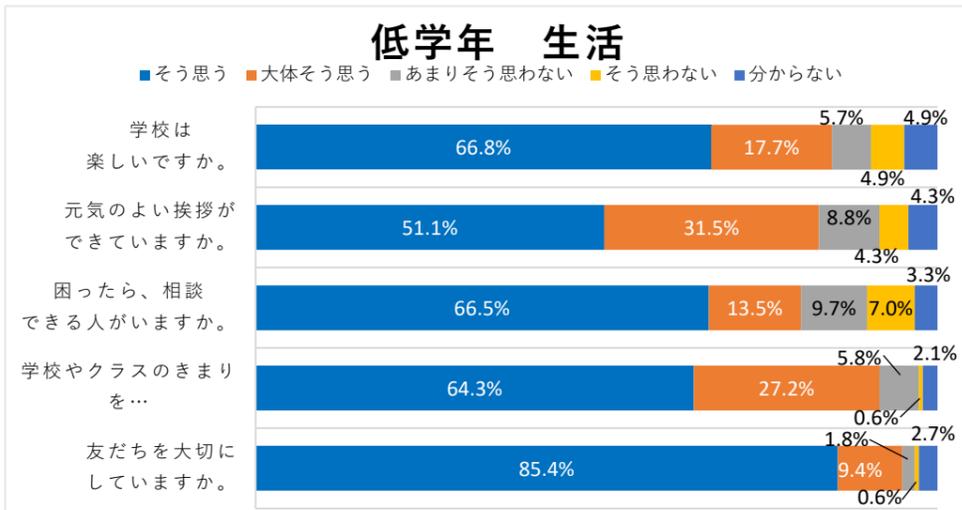




秋冷の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、本校教育に、ご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。今年度、オンラインでの第1回目学校評価アンケートを行いましたところ、快くご協力いただき、ありがとうございました。この学校評価アンケートは、児童・保護者・学校の三者で行い、年間2回実施を企画し、今回は前期学校評価アンケートの結果をお知らせ致します。今年度は児童を低・中・高学年と3つに分け、結果をグラフと数字でお伝えさせていただきます。ご了承ください。



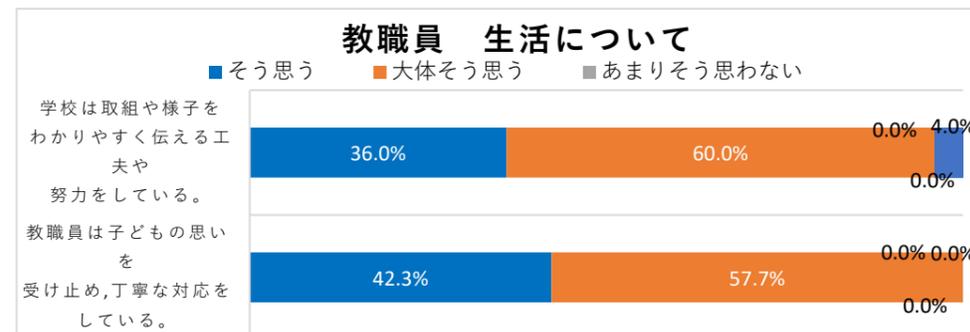
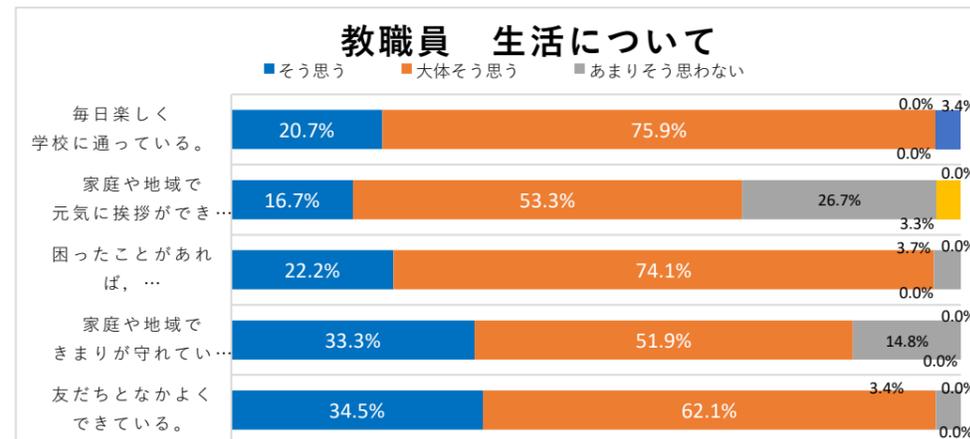
○学校は楽しい。
 今期のアンケートでは「そう思う」「大体そう思う」を合わせるとどの学年においても約8割の児童が学校は楽しいと答えてきています。休み時間になるとたくさんのお子もたちが校庭で元気に遊ぶ姿が見られます。友だちとの関わりや学習面、その他日常生活全般において充実した日々を過ごしていることが学校生活に対してよい印象をもっている子どもたちの多さにつながっていると考えられます。しかし、その反面学校が楽しくないと感じている子どもたちもいます。全ての子どもたちが充実した学校生活を送ることができるように、今後もより丁寧に子どもたちに寄り添い、日々の教育活動をすすめていきます。

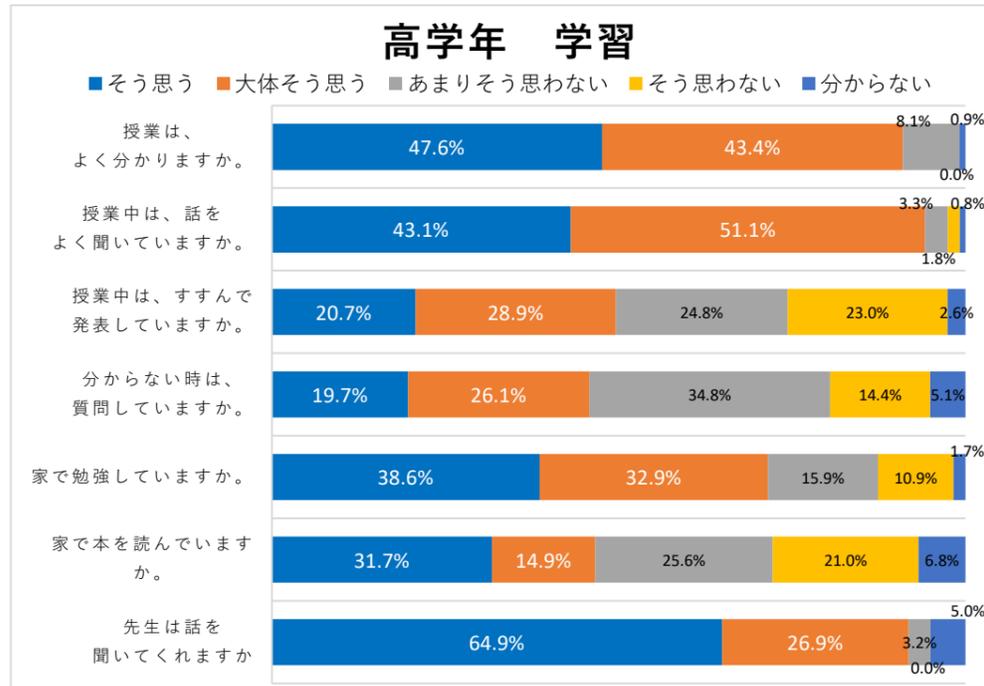
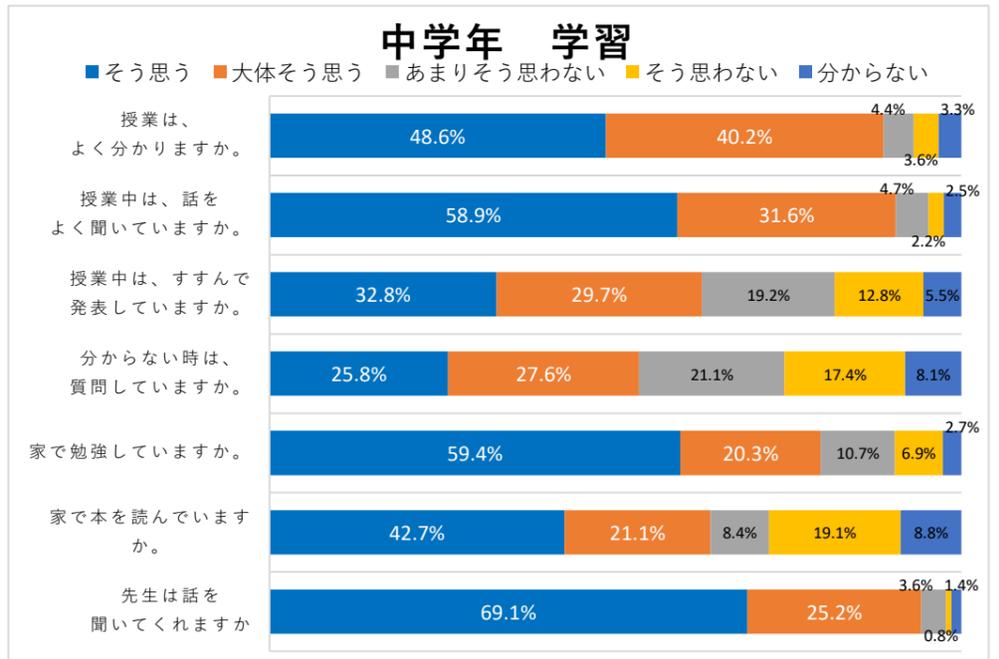
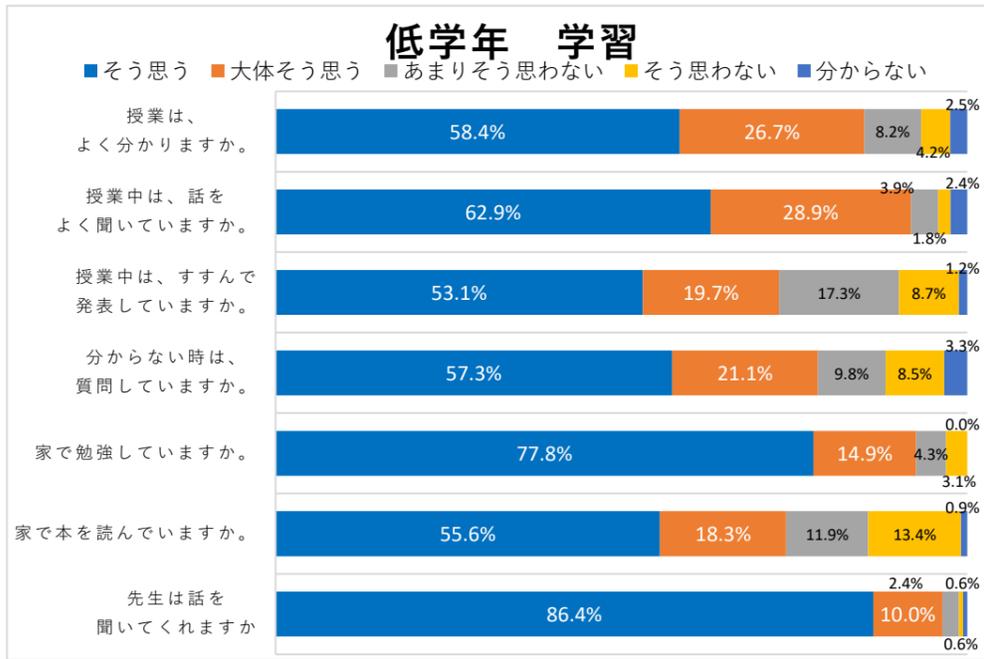
○元気のよいあいさつをする。
 地域の皆様や保護者の皆様からのお声かけのおかげで、あいさつする意識が年々高まってきています。学年が上がるにつれあいさつへの自己評価は低下するものの、少しずつ声を出してあいさつができるようになってきていることが数値からも見て取れます。今後いつでも気持ちのよいあいさつを相手に届けられるように心がけてほしいと思います。

○困ったら、相談できる人がいる。
 近くに自分の思いを伝えられる人がいることは、とても大切なことです。今回のアンケートでは、たくさんのお子もたちが困ったら相談できる人がいると答えてきています。学校生活の中で、もし悩みを感じたり、困難にぶつかったりすることがあれば、一人で抱え込まず、お家の方、友だちや教職員、スクールカウンセラーの先生など周りの人に頼ってほしいと思います。

○学校やクラスのきまりを守っている。
 規範意識については、約9割の子どもたちが「そう思う」「大体そう思う」と答え、そのうちの半数以上の児童が「そう思う」と回答しています。集団生活を送るため上での約束やきまりを守る意識が高いことがわかります。これからもルールやきまりを守ろうと意識できるように指導を重ねていきたいと思ひます。

○友だちを大切にしている。
 生活面の中で一番評価が高くなっています。日常生活の中で、友だちの存在が大きな力を与えてくれます。お互いを認め合い、良い関係を築いていけるよう取り組んでまいります。





○授業はよく分かる。

約9割の子どもたちが、授業がよく分かると答えています。今後も、すべての子どもたちの学力向上を意識して授業改善をすすめ、分かりやすい授業を心がけたいと思います。

○人の話を聞く。進んで発表する。

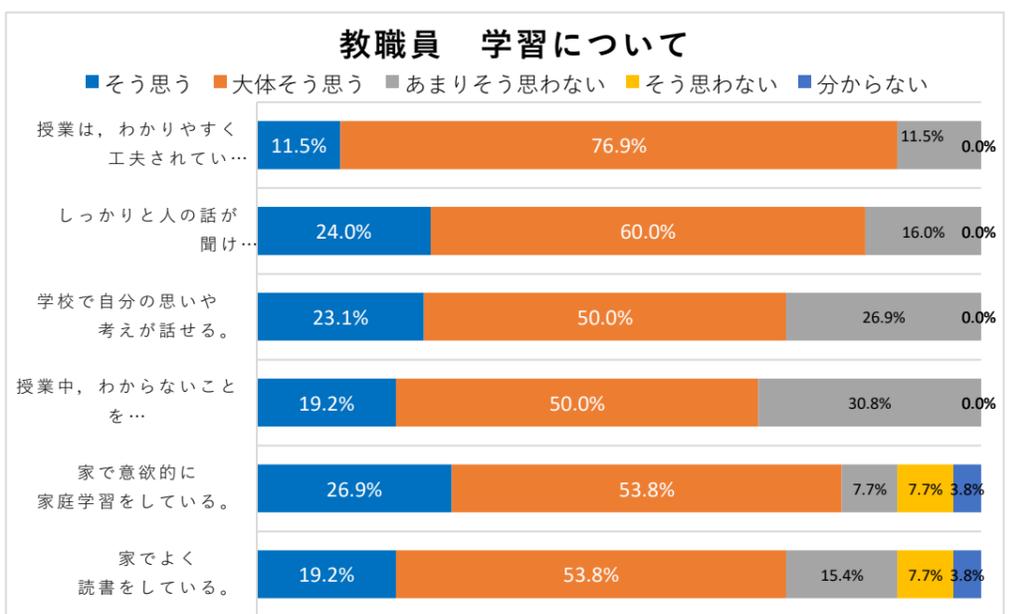
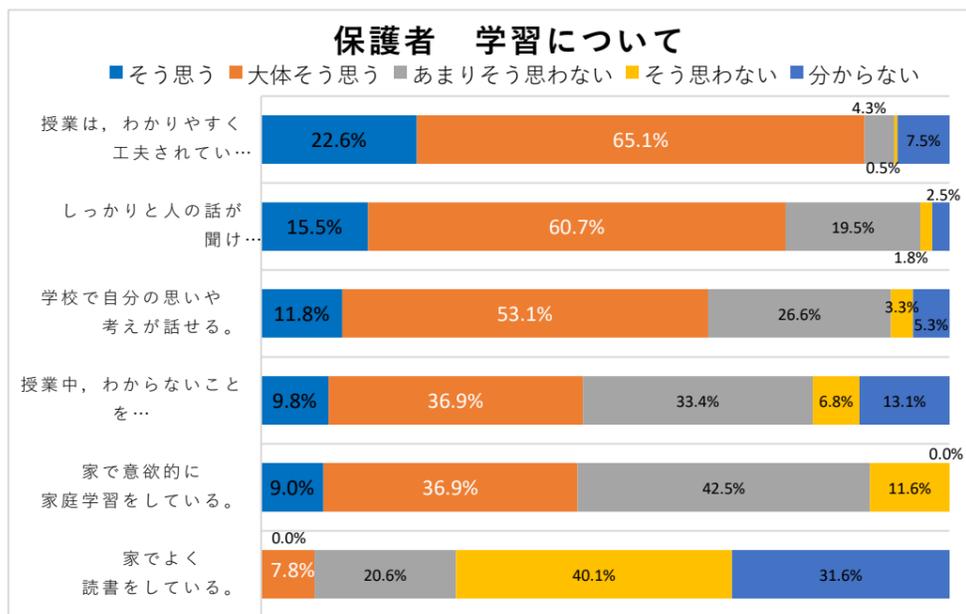
「聞くこと」に関しては、およそ9割の子どもたちがよく話を聞いていると高い意識をもって答えています。一方で、自分の思いを相手に伝えたり、全体の場で発表をしたりすることに苦手意識を持っており、学年が上がるにつれ、恥ずかしさが先行しているようです。しかし、今年度から『主体的・自主的で対話的な学習』にむけた授業をよりすすめることで、すすんで発表すると答えた子どもの割合が昨年度より若干高くなっています。今後も全ての学年が、学校教育活動の中で、もっと表現する力を付けていけるように意識して日々の授業の改善・充実に取り組んでいきたいと思っています。

○家で勉強している。

学年に応じて決まった量の宿題や自主学習を出すことで、家庭での学習の習慣化を図っていますが、約7割の子どもたちは家庭学習に取り組んでいると答えています。「自学自習の態度」を身につけたり、「宿題や家庭学習の定着」を低学年のうちから身につけさせたりすることはとても大切です。また、学習時間を確保するため、「基本的な生活習慣」「時間を守る」「決めたことは守る」など学校でも粘り強く指導していきます。ご家庭でも引き続きご協力よろしくお願いします。

○家で本を読んでいる。

学年が上がるにつれ、本を読む時間が減少しています。学校では、毎朝の10分間読書や学校司書の笹治先生にご協力いただき、学習関連図書を気軽に読めるコーナーを設置したり、新しい本が入ったら掲示したり、図書館だよりを作成したりしています。しかし、読書の習慣化という面では、まだまだ課題が多いようです。読書は「心の栄養」とも言われ、本を読むことで、知識も広がっていきます。学校でも、子どもたちの様子を把握し、読書ノートの活用や読書週間などの取組、指導者の読書姿を見せることで、子どもたちが本と触れ合う機会を作っていきたいと考えています。



【家庭でのよい取組やご意見・ご感想】 … 保護者記入欄からの抜粋です。

挨拶・礼儀

- 挨拶は相手の目を見て聞こえるように、何かしてもらったら「ありがとう」と言葉にするようにしています
- 挨拶。自分で出来ることは自分です。チャレンジしたいことがあればどんどんチャレンジしてみる等
- 挨拶は必ず目を見てするようにしています。
- 挨拶はすごく大事とは家庭で息子に話していて相手がしてくれなくても自分から挨拶していこう！とは言っています。
- 挨拶の大切さ、人との繋がり大切さなど普段からうるさいくらいに言っている！
- あいさつや話しをする時は、相手の顔を見るようにしようと伝えています。
- 小学校に入って、ご近所の人と出会った時に自分から挨拶ができるようになりました。また、お手伝いも意欲的です。
- 挨拶はしっかりするように声をかけています。お手伝いも役割を与えています。
- 挨拶、お手伝いは積極的にしてくれます。
- お友達の家に行くときの礼儀や、ご飯を食べる時の行儀はとても気をつけています。

お手伝い

- 積極的にお手伝いをしてくれます。
- 晩御飯のお手伝いをしてくれたり、洗い物を手伝ってくれたりしてます。
- 親子ともに時間がある場合に限りですが、料理の手伝いをしてくれます。後片付けや、食器洗いも頑張ろうとしてくれています。もうすぐ兄弟が生まれるので、お手伝いの面や、心の面でも前向きに頑張ろうとしてくれているのだと思います。
- 進んでお手伝いをしてくれるようになりました。
- お手伝いをさせて、家族の一員であることの自覚を促すようにしている。
- 妹のお世話や家事のお手伝いをよくしてくれます。
- 最近、家で料理を手伝うようになりました。
- 最近はお休みの日にご飯支度を手伝ってくれます。先日は初めて1人でカレーライスを作ってくれました。
- 最近、こちらから言わなくても、食事の準備を手伝ったり、食器をひいたりできています。また、以前は夕食時にテレビがついていたのですが、最近、食事時にはつけないようにしてから、学校での出来事をよく話すようになりました。そこからも、学校生活を楽しんでいる様子がわかります。

生活習慣

- 早寝早起きをきちんとしている。食後の食器をキッチンに運ぶ。
- 毎日寝る前に家族で読書時間を設けています。
- 規則正しい生活。
- 布団をひく、9時に寝ようと努力する。

読書

- 図書館で本を借りるのが楽しいようです。活字を読むというよりは興味のあるものを見ている感じですが、お料理の本を借りてきたときには、お休みの日に一緒に作ったりもしました。
- 読書が好きなので、「今日は何を読んでいるの?」「どんなお話?」と子どもの好きなことに興味を持って関わっている。
- 読書を習慣化し、時事問題に興味を持ち話し合う。

その他

- 兄弟仲良く助け合う。
- 兄弟、家族の間でも丁寧な言葉遣いを心がける。
- 毎日寝る前に、その日起きた楽しかったことや、嬉しかったこと、頑張ったことなどを子どもたちと発表し合っています。
- 家族みんなが1日の出来事を話します。
- みんなで一言日記をつけてます。今日一日を振り返り、できたことや頑張ったことを考え、手帳に書きます。自分の頑張りを意識することが、きっと明日の頑張りの力になると思っています。
- 頑張りを認めること、褒めること。自己肯定感を高められるような関わり。
- 時間を意識して行動する、お金の使い方を考える。
- 学校での様子が参観日で見られてよかったです。

ご多忙の中、学校評価へのご協力ありがとうございました。

学校評価の内容を踏まえ、今後の学校運営に生かしていきたいと思っております。今後とも、本校教育に何卒ご理解ご協力いただきますよう、お願い致します。次回のアンケートは、1月下旬を予定しています。